

ジェンダード・イノベーション

企業・市民向け講座

先着
50名
参加無料

地域企業関係者をはじめ、スマートフロンティア協議会会員企業、興味のある方など、どなたでもご参加いただけます。

全3回シリーズで開催

第1回 ジェンダード・イノベーション(GI)とは？GIの事例を学ぶ

日時 令和8年6月4日(木) 14時から15時半まで ※開場13時45分

講師 お茶の水女子大学 ジェンダード・イノベーション研究所
特任講師 相川 頌子 氏

お茶の水女子大学文教育学部を卒業後、文具メーカーに勤務。2020年3月、同大学大学院修了。博士(社会科学)。お茶の水女子大学基幹研究院リサーチフェロー、ジュネーブ国際・開発研究大学院ジェンダーセンター客員研究員などを経て、2024年8月より現職。専門は家族社会学、ジェンダー研究。



会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 ホール4A
(仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ 4階)

第2回 GIアイデアの検討： 交差性デザインカード(*)を使ったワークショップ

日時 令和8年6月10日(水) 14時から16時まで ※開場13時45分

講師 お茶の水女子大学 ジェンダード・イノベーション研究所
リサーチ・アドミニストレーター 吉原 公美 氏

民間企業勤務、英国ウォリック大学への修士課程留学を経て、2004年よりお茶の水女子大学で研究組織運営に従事。2022年4月より現職。『交差性デザインカード』の翻訳・作成を担当し、ワークショップ実施も手掛けている。



会場 TKPガーデンシティ仙台 ホール30A
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER 30階)

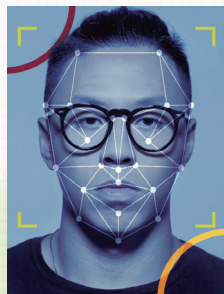
第3回 秋ごろ開催予定

ジェンダード・イノベーションと
講座の内容については裏面へ

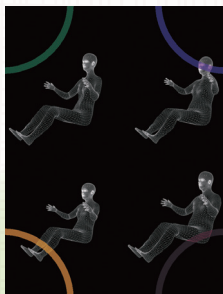
ジェンダード・イノベーションってなに？

性別・世代・人種・地域性などのちがいが商品やサービスなどの開発段階で見過ごされることで、不利益が生じることがあります。

(例)



白人男性をモデルに開発された顔認証システムは黒人女性を認識しづらい(システム×人種×性別)



高齢の女性ドライバーは衝突事故で重症を負う確率が高い(設計×性別×年齢)



インドの伝統的な赤い花嫁衣裳の写真はコンピュータから花嫁衣裳と認識されない(コンピュータ×民族)

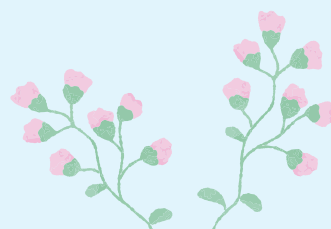
GIは、これらのちがいについての理解を開発プロセスに組み込むことで、すべての人の利便性向上を目指す考えです。

交差性デザインカードから抜粋

ジェンダード・イノベーション 企業・市民向け講座の内容

第1回 ジェンダード・イノベーション(GI)とは？ GIの事例を学ぶ

- GIとは
- 性差が見過ごされてきたことによる弊害
- 交差性分析の必要性、考え方
- GIの具体的事例(世界的に有名な事例～身近な事例など)



第2回 GIアイデアの検討： 交差性デザインカード(*)を使ったワークショップ

※交差性デザインカード

『交差性デザインカード』は、GIの提唱者であるロンダ・シービンガー教授(米スタンフォード大学)たちのチームにより2021年に出版された『Intersectional Design Cards』の日本語訳です。交差性要素の定義のカード、デザイン検討のための問いのカード、事例研究のカードから構成されていて、交差性に配慮した課題解決法の探索に役立つよう考案されています。



- ワークショップでは、1つの事例をもとにグループメンバーと話し合います。話し合いたい製品やサービスについて考えておきましょう。

参加
申し込み
方法

申し込みページ(二次元コード)より
お申し込みください。

